

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年2月19日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(5日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	越前市	代表者名	市長 奈良俊幸
担当者部署	情報統計課	連絡先電話番号	0778-22-3000
担当者役職	副課長	担当者氏名	小林 保則
		連絡先E-mail	
住所	915-8530 福井県越前市府中一丁目13-7		

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	千葉 大右
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	当アドバイザーが、1月から内閣官房IT総合戦略室に研修派遣となり、新型コロナウイルスワクチン接種に関する情報システム開発の実務に携わっていることから、当市の担当者と直接意見交換する場を設け、最新の検討状況を把握することができた。 また、総務省の自治体DX推進計画について、概要を把握することができ、今後の当市のDX推進に関し方向性を見出すことができた。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、当市の窓口業務をはじめとする、自治体全体のDX推進にご支援をいただきたい。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年2月10日	14時30分	16時30分		120
支援形態	支援・助言(オンライン)				

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

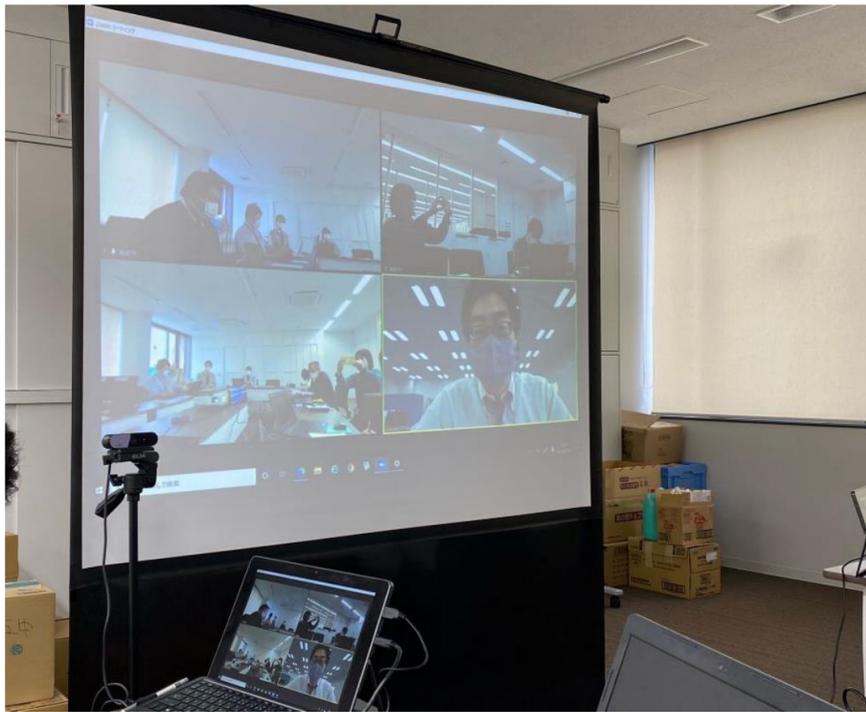
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	業務改革ワーキンググループ職員ほか	10人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	・自治体DX推進計画の概要の理解と今後の当市での取組みについて ・新型コロナウイルスワクチン接種に関し、特に情報システム連携について課題の解決 ・当市の押印見直し、キャッシュレス決済の導入についての当市の進捗報告と課題の解決	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	・当市における、今後の自治体DXの推進の方向性について検討する契機とする。 ・新型コロナウイルスワクチン接種について、最新の検討状況を把握する。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・昨年末に公表された自治体DX推進計画について、概要の解説をしていただいた。また、令和2年度から本格稼働する船橋市のオンライン申請システムや令和4年度の船橋市の住基システムのリリースを事例にアドバイスを受けた。 ・新型コロナウイルスワクチン接種について、当該臨時接種の法的位置づけ(法定受託事務)や接種記録システムの仕様等の質疑応答を通じ、転入等の住民異動時の具体的な運用の注意点や国の検討状況の解説を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	自治体DX推進計画について、当計画に謳われている事項について、優先的に検討すべき事項との峻別(業務システムの標準化とGov-Cloudの関係)や、今後のオンライン申請の取組みの方向性(マイナポータルとの位置づけ)を検討する契機となった。 また、今回は、喫緊の課題である新型コロナウイルスワクチン接種に関する情報システムについて、直接質問を投げかけられる機会を得ることができ、ワクチン接種担当者の今後の準備作業の参考となった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	次年度以降、自治体DX推進計画に沿った、当市の推進計画の策定や推進体制の構築の検討	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 前回に引き続き、少人数のワーキンググループでアドバイザーの指導を受けたため、その場で参加者の反応を確認することができた。また、質疑応答も活発に行われ、支援・助言に対する評価も高いと判断した。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



オンラインによる支援・助言（アドバイザー：千葉大右氏（4画面右下））



業務改革ワーキンググループ会議の様子